

曙です

最近、僕は引退宣言を出しましたが、僕は僕なりに修行して戻ってきます

その前に一言よろしいでしょうか？

実は先日、いとこの麻衣子が突然俺の家に来て、「何も言わずに泊めて」とだけ言って僕の部屋に転がり込んできました。

僕は突然の訪問にワケが分からず、ただ呆然としてしまいました。

そんな僕をよそに「ねえ、お風呂はいつでもいい？」などとはざきました

信じられません。いとこは言え若い男女、これは僕とエッチがしたいと

誘ってるものだと確信しました。

「ああ、いいよ」

僕はなるべく冷静を装いながら彼女を風呂場へ行かせました

彼女が風呂に入ったのを確認すると、まずは下着の拝見をさせていただくことにしました

洗面所に無造作に置いてある彼女の服、...たまりません

私はとりあえず白いパンティを頭からかぶりました。

なんともいえない香しい香りがして、僕は興奮して勃起してしまいました

僕はこの素晴らしさを世間に見せてあげようと思い、コンビニへコンドームを買いに行きました

店内に入ると空気が変わるのが一瞬で分かりました

僕ほどの経験者になるとその威圧だけで周りを黙らせることができます

僕はそんな弱者をよそにコンドームを10箱買いました

これで準備は万端です。しかし、僕が店を出たとき、妙な服を着た連中が僕の所へやってきて

「ちょっと署まできてもらおう」

そんなこと言うものだから、僕は怒って言ってやりました

「すみません。つい魔が差して...」

その日は留置所で一夜をすごしました

それをキッカケに僕はK-1に出場しよう！と決意しました

長々と書きましたが精子です今まで本当にありがとうございました